

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(川瀬建設株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得証明があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 		
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7				
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本		【予定】	・社員の子育て応援宣言(長野県)に登録している 【予定】ハラスメントに関する研修、規定の作成					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1				
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・長時間労働は正のため、労働生産性改善、時間管理、勤務体制の整備を行っている ・社員の子育て応援宣言(長野県)に登録している							8.5 8.8												
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・現在、外国人労働者は在籍していないが、下請け等に入っていたり、入場者教育時に指導を行っている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3									
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・毎月社内安全パトロールを実施している(外部安全指導員の同行) ・毎月全社安全会議を実施し、安全意識の向上を図っている			3				8												
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・協会けんぽ長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている ・健康経営優良法人2020(中小規模法人部門)の認定を受けている			3																
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・継続雇用制度により定年退職後の雇用環境を整えている ・育児・介護休業規定を定め周知している ・女性管理職の採用を行った				5.1 5.5		8.5		10.2 10.3											
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・業務に必要な資格・免許の取得を全額会社負担で推進している			4	5.5		8	9												
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・労働基準法に則り対応している ・職場いきいきアドバイスカンパニー認証取得				5.5		8.5		10.2 10.3											
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・協会けんぽ長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」を行っている ・健康経営優良法人2020(中小規模法人部門)の認定を受けている ・社員に「健康管理士を認定」「健康相談窓口を設置」			3			8													
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・工事現場から発生する廃棄物の分別を徹底している ・長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している												11.6 12		14.1					
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・自社のエネルギー使用量等の把握を行っている						7.3								13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・自社車両を低燃費車両へ入替えを行っている					7.2 7.3							12.4 13.3							
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令等の周知を行っている				3.9		6.3						11.6 12.4							

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している									6.6							15			
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している ・ペーパーレス化の推進、コピー用紙の裏面再利用を行っている ・インクやテープのカートリッジは再生回収を徹底している													13	14.1					
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・山水(天然水)を利用し水道水の削減に努めている								6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・エコアクション21を取得				3.9		6	7					12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・エコアクション21を取得し、「環境レポート」を開示している ・自社のウェブサイトやSNSでも環境に対する取り組みを紹介													12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・工事現場等の電源の一部に太陽光発電機を可能な限り取り入れている							7.2						13						
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・山水(天然水)を利用設備を設置している ・非合法材を使用しないことの確認を行っている												12.2	13	14	15				
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている															16	16.5			
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内研修を実施している ・建設業法関連法規に則り業務を行っている															16				
公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・知的財産を適切に管理、保護に努めている ・知的財産である各種情報を保護するため、パソコンにはパスワード等の制限を設けている							8.2 8.3	9											
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・プライバシーポリシーを定めてHPに公表している ・重要な個人情報のデータは、扱える社員を限定して取り扱っている															16				
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している																16			
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・協力会社・資材納入業者等の取引先に対し、人権侵害防止、倫理面の適切な対応等の確認活動を行っている				5		8	10		12	13	14	15	16	17					
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】		・今後対応を予定している			3					8	9	10							17		

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・使用材料について納入前に品質規格の承認書類の提出を依頼している															12.4			
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・工事引渡し前に社内規格値による社内検査をおこなっている ・下請け業者が行った工事に対して社内検査を実施し、合格したもののみ引受けている										9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・環境に配慮した資材、工法など発注者に提案等し施工に努めている								6					12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・積極的に災害協定を結び災害復旧工事に対応している(松本市、長野県) ・除融雪業務に積極的に参加している(松本市、長野県)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地元地域の行事に積極的に参加協力している ・工事着手前には説明会等を開催し、地域からの声を把握している					4					9	11	12	14	15		17		
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・松本市消防団協力事業所認定をうけている ・地域のボランティア活動(年2回)に積極的に参加している ・地域の小学校と環境に対する取り組みを実施(古着deワクチン)					4						11		14	15		17		
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			・使用資材に長野県産材を積極的な利用を推進している									8	9	11	12	13					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営者が、経営理念、経営目標を社員に説明し周知している								8	9								17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・社内会議にて、説明し周知している(月1回)																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・担当管理者を任命している																		16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動の影響を把握し適切に対応する																	16 17	
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・朝の打合せ時にリスクマネジメントを実施している(各現場)																	16	
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ			・社内会議などでCSRを常に周知し、責任を持った行動に取り組んでいる																	16	
42	【事業継続】 ・事故や灾害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・各種保険に加入し、不慮の事態に備えている											9	11	13	13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【非該当】		・事業承継の予定なし										8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定